



生活クラブ風車 夢風 News

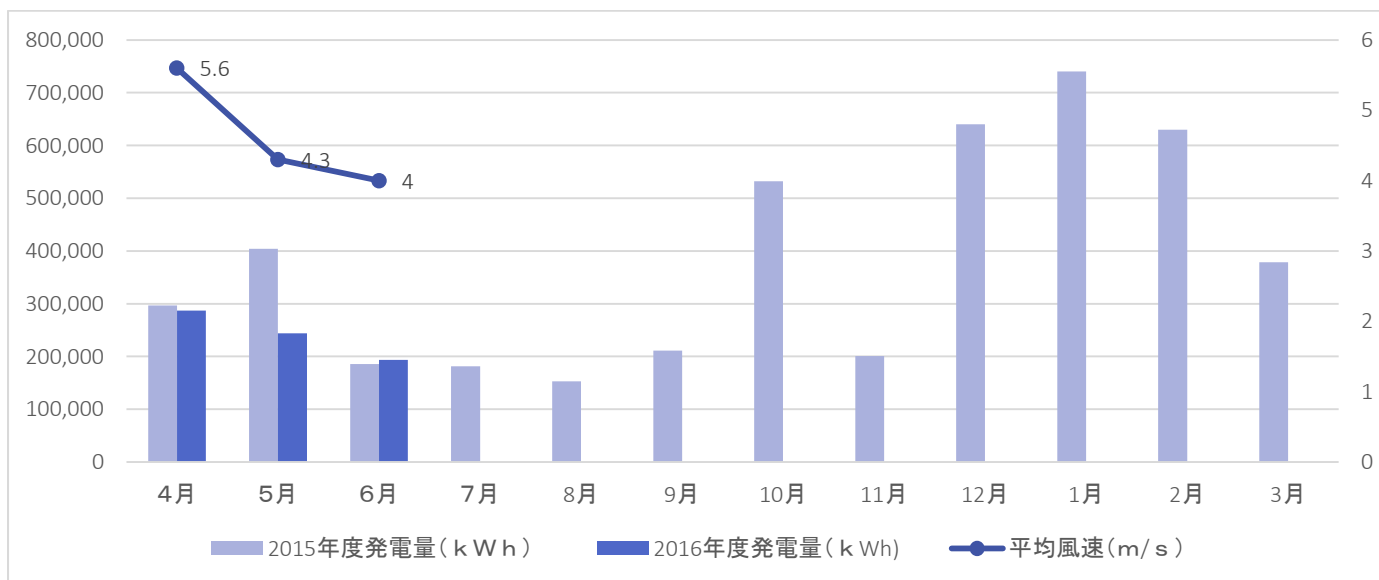


Vol.49

●発行 2016. 7. 15 一般社団法人グリーンファンド秋田
●発行責任者 半澤彰浩(代表理事) ●編集責任者 西村明子

■2016 年度 発電実績

	発電量 (kWh) 【 前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)		発電量 (kWh) 【 前年比】	平均風速 (m/s)	設備利用率 (%)
4月	286,904 【 96.7%】	5.6	20.0	10月			
5月	243,884 【 60.3%】	4.3	16.5	11月			
6月	193,900 【104.3%】	4.0	13.5	12月			
7月				1月			
8月				2月			
9月				3月			



○6月の風況は平年並み実績でした。

○夢風の建つ秋田県にかほ市は日本海側気候で、冬は北西（日本海）からの季節風が非常に強く吹き、夏は晴れた日が多く風も弱くなります。

■にかほ市と生活クラブ・グリーンファンド秋田との連携推進協議会総会 開催報告

7月8日(金)、にかほ市役所象潟庁舎で2016年度連携推進協議会総会を行いました。始めに、にかほ市の須田正彦副市長よりご挨拶を頂きました。

2015年度は、生活クラブ風車「夢風」の運転・稼働状況の共有や、組合員リーダーツアーなど交流事業、物産の取組、加工用トマトの実験栽培などをすすめました。38デポーターでにかほフェアを開催し、東京、神奈川のデポーターにはにかほ市より、13名の生産者、芹田の方、市職員の方を招き、組合員との交流を深めることができました。また、夢風ブランド品の開発に向けた組合員と生産者との活動がスタートし、2月に活動発表会を生活クラブ東京を会場に行いました。それらを通じて、にかほ市と生活クラブの地域間連携を深める企画や取り組みをさらに進めることができました。

2016年度も、交流企画、夢風ブランド開発活動、産物の取組、加工用トマトの実験栽培などを継続してすすめます。夢風ブランド品は、タラーメン醤油味、鱈しょっつる、いちじくのコンポート(仮称べっぴんさんいちじく)、純米大吟醸・夢風を首都圏の生活クラブでの共同購入に取り組みます。また、JA秋田しんせいを通じてにかほ市の大豆を生活クラブの指定産地とし、豆腐や豆乳の原料とすることが決まっています。

にかほ市にあらたに建設する風車については、引き続き景観などに配慮し調査・検討を進めていくこととしました。

■夢風ブランド開發生産者連絡会 第3回総会 報告

7月9日(土)にはにかほ市観光拠点センター「にかほっと」多目的室にて、夢風ブランド開發生産者連絡会を行いました。始めに、生産者連絡会の三浦悦朗会長よりご挨拶を頂きました。



2015年度は、生活クラブとともに夢風ブランド品開発に取り組みました。8月に夢風ブランド開発活動中間報告会を行い、生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉の組合員がにかほ市の伊藤製麺所、(株)飛良泉本舗、佐藤勘六商店、日南工業(株)の訪問視察を行いました。夢風ブランド開発品第1弾として「純米大吟醸・夢風」がデビューしました。また、「デポーターにかほフェア」へ企画提案を行い、18品目、7116点の発注となりました。

デポーターフェアと合わせて生活クラブ東京、神奈川で行う交流企画に13名が参加し、特産品やにかほ市のアピールや組合員との交流や施設見学等を行い、生活クラブを見て知っていただく機会となりました。また、芹田営農組合で収穫された加工用トマトは生活クラブのトマトケチャップの原材料となり、2月に供給されました。

2016年度は、夢風ブランド開発品の伊藤製麺所の「タラーメン・醤油味」と日南工業(株)の「鱈しょっつる」、佐藤勘六商店の「べっぴんさんいちじく」がデビューします。また、三浦米太郎商店のはたはた加工品の開発に生活クラブ神奈川と取り組みます。また、



生活クラブの各単協と連携し、特産品の取組を進めます。タラーメン生産している伊藤製麺所の伊藤さん(写真左)は、「生活クラブにタラーメンを出すことで、今まで作ったことのないような量に取り組みました。連絡を密に出来たことで、事前に準備をかさね、無事納品することができてよかった」と笑顔で話していました。また、鱈しょつつる出荷を終えたばかりの日南工業の服部さん(写真右)は、「計画していたより多くの注文があり、『うれしい悲鳴』というものを初めて体験したように感じました。事前の発注予測数の連絡があり、準備を進めておいてよかった。」とこちらも満面の笑顔で話していらっしゃいました。



■グリーンファンド秋田 新監査役紹介



先のグリーンファンド秋田の社員総会において、監査役に就任しました生活クラブ神奈川の柳下信宏と申します。にかほ市との連携推進協議会の監事にも合わせて就任いたしました。グリーンファンド秋田の事業・活動や、にかほ市と生活クラブの連携について、少しでもお役に立てるように、精一杯努めさせていただきます。不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願ひします。

チェルノブイリ原発事故から30年、東日本大震災と福島第一原発事故から5年が経過しました。チェルノブイリ事故で私たちは気付いたはずなのに、福島事故が起こるまで日本の原発を止めることができなかった。そして福島事故が今まだ続いているのに、原発の再稼働、原発回帰が一層進んでいます。事故も被害も無かった事にしようとする動きに対して、怒りを禁じ得ません。

しかしその一方で、怒りだけで日々暮らしていくことはできないわけで、私たちの思いを継続できる仕組みにすることが重要であると常々感じています。風車がまわり続けることが、既存電力会社からの不買と、自然エネルギーの推進、実質的な脱原発の推進になることをとても嬉しく思います。

そして、にかほと生活クラブの縁が、お互いを高めあい、暮らしをより豊かにしていくことに期待しています。



連携推進協議会 夢風ブランド開發生産者連絡会って・・・？

にかほ市と生活クラブは2013年8月25日に「地域間連携による持続可能な自然エネルギー社会づくりに向けた共同宣言」を発表しています。これは、「夢風」による自然エネルギーの「地産都消」を実践しながら、人と人との交流を進め、自然エネルギーを縁とした新たな地域間連携のモデルにまで発展していくことを願っているのです。その具体化のために、2013年11月に、にかほ市と生活クラブが連携推進協議会を設立しました。さらに、2014年7月に連携推進協議会の基に、生産者の会として、夢風ブランド開發生産者連絡会を設けています。

■「おだやかな革命」生活クラブ編の撮影快調

いでは堂の渡辺監督のドキュメンタリー映画「おだやかな革命」の生活クラブ編のドキュメント映像を製作するにあたり、人形町オフィスで法政大学の西城戸教授、名古屋大学の丸山准教授、埼玉の清水理事長、神奈川の佐野理事、千葉の柳田理事とグリーンファンド秋田の半澤代表理事のインタビューを撮影しました。

映画撮影用機材を前に少し緊張気味のみなさんです。

この映画は7月31日の組合員リーダーツアーの際、にかほ市で初お披露目されます。どんな内容になっているか、とても楽しみです！

映画上映会日程

日時:7月31日(日)9:15~11:00 会場:にかほ市金浦公民館 軽運動場

その後、9月22日(木)風車夢風5周年イベント(会場:東京生活クラブ館)や、首都圏4単協の企画などで順次公開していく予定です。



■「省エネ講座講師養成講座」講師を務めました。

生活クラブ神奈川では、地域で省エネ講座を開き、組合員が省エネやエネルギーのことを学んだり、語り合える場づくりを進めていくために、省エネ講座を開くことができるリーダーを養成しています。

グリーンファンド秋田では今回この養成講座講師を務めました。積極的な省エネをすすめるために、地球温暖化問題と自然エネルギーへのエネルギーシフトの講義のあと、アンペアダウンゲームを実際に行ってみました。

家にある家電製品を思い描きながら、何をどう使ったら省エネにつながるか、グループに分かれて考えてもらうなどして、エネルギー問題を考えてもらいました。アンペアダウンカードを使うと、具体的に考えられるので、あちらこちらで「これは同時に使わないわね」「ドライヤーは消費電力が高いのね」と、声が上がっていました。

節電は発電するのとおなじ効果があります。省エネのアイデアをお持ちの方、ぜひ教えてください。省エネ講座でもご紹介していきたいと思っています。

